



ひびき

自らを変える!! 明日を創る!! イー・スト イノベーション

令和 4 年 3 月 8 日
JRE ユニオン関東 NO10
発行責任者 地協委員長
編集責任者 地協組織部

2022年3月ダイヤ改正交渉をおこなう!!

2年連続の赤字からのV字回復をめざすために

新型コロナ蔓延によるご利用の減少が続き、以前のご利用状況まで回復することが見込めない中、2022年3月のダイヤ改正では新幹線を始めとして、これまでにない運転本数を見直したダイヤが発表されました。2年連続の赤字から黒字転換に向けさらなる効率化と収入確保が求められています。私たちJREユニオン東京は変革2027・現業機関における柔軟な働き方の実現について何をすべきか?どのように取り組むべきか?また働きがい・安全性向上について交渉をおこないました。

交渉の主な要求の要約

1 現業機関における柔軟な働き方の実現について

私たちは、この施策を会社経営のV字回復に必要な施策と捉え、今後乗務員に求められるスキルについて質問したところ、会社は運転士・車掌と明確な分担でなく、駅・企画・その他の業務も担うようになる。そのためにも企画業務・非現業・駅業務などはどのようなものか、施策実施時に移行できるような知識を持っていることを求める。とのことから、自分の殻を破りたい、破り方が分からないと悩む社員のため、これまで公募制であった体験業務などに指名制の導入を提案すると否定するものではないとのことから、指名制導入によるスキルアップの運動を創ってまいります。

2 長距離乗務行路の解消に向けて

提案された行路によっては乗務するキロ数が極端に長いもの、短いものによるバラつきの平準化に向け要求を行い、指摘した長距離乗務行路の解消ができ、働きがい・働きやすさの実現に成果がありました。今後も行路ごとの不均衡の解消に取り組んでまいります。

3 サンライズ瀬戸出雲の車掌3名乗務体制について

現在、定期列車唯一の寝台列車としてサンライズ瀬戸出雲に対するお客さまの期待が高まる一方、車両の老朽化による設備故障、トラブル対応に車掌は時間を割かれることが多くなっていることから、3名乗務を訴えました。会社は現状では対応可能との判断ですが、今後の状況を勘案するため乗務報告書を確認しています。些細なことでも報告することで今後の見直しにつなげ、働きやすさ、サービスの向上を目指します。

4 最後部以外でのドア扱いについて

3月1日から東海道線特急が一部の駅で中間車両の乗務員室からドアを開閉できるようになるが、発車時は前後方向それぞれの確認が必要になることから基本動作の変更を求めたところ、変更する考えはないが、安全を担保するため、事故防止・駆け込み乗車防止に向けてお客さまへの啓発を行ってもらう回答がありました。これからも安全性向上に取り組んでまいります。

社会の変化に合わせて自らも変わることが会社の成長に繋がる!
これまでと同じは通じない、しかし、だれも取り残さない!
社員を守り、会社も守る!
そのために汗をかき知恵を絞る!それがJREユニオンだ!!